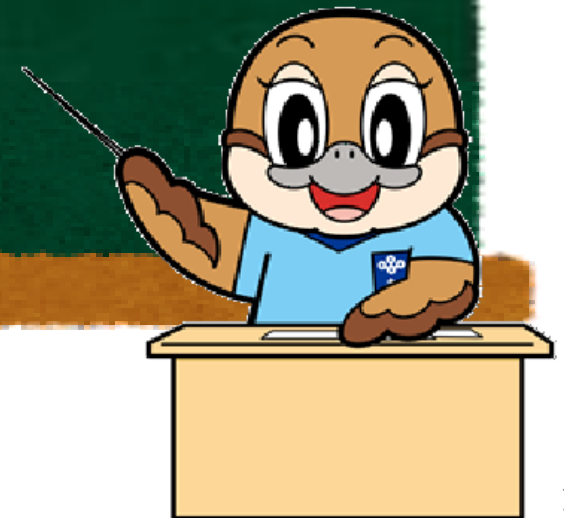


事例 3

陽性者発生後、早期に施設内で状況整理を行うことで、計画的に対応が行えた事例



1 発生からOCRTが探知するまでの経緯

発生初日（0日目）

入所者で複数名が発熱し、検査をしたところ新型コロナ陽性が判明。
施設から保健所へ陽性者が複数名発生したことを報告。
保健所は施設から状況を聞き取り、早期に感染対策の指導が必要と判断し、
OCRTに依頼。



施設と調整し、依頼2日後（発生2日後）にOCRTから医師1名
薬剤師1名・看護師1名が訪問。







2

OCRT訪問時の施設の状況

- 陽性者、濃厚接触者に対しては個室に隔離していた。
- 初発の陽性者が判明してから食堂の利用は中止し、食事も自室で取るなど、陽性者や濃厚接触者が他の入所者と接触しないようにしていた。
- ゾーニングは行っていたが、職員はPPEを着用して陽性者や濃厚接触者の対応を行った後、そのPPEを着用したままグリーンゾーンへ移動するなど、ゾーニングが不十分な状態であった。
- 陽性者のみ使い捨て食器で対応しており、濃厚接触者は通常の食器を利用していた。
- 職員は陽性者が出たことで漠然とした不安を感じており、また、職員でも陽性者が出たために人員が不足し、心身ともに余裕がないとのことであった。
- 人手不足により施設内での検体採取が遅れており、必要な検査が終わっていなかった。
- 入院2名あり。施設内療養を行っている入所者に対してのコロナ治療については、まだ予定されていなかった

3

OCRT訪問時の助言

施設での対応	OCRTからの助言
陽性者、濃厚接触者に対しては個室に隔離していた。	Good! 
初発の陽性者が判明してから、食堂の利用は中止し、食事も自室で取るなど、陽性者や濃厚接触者が他の入所者と接触しないようにしていた。	Good! 
ゾーニングは行っていたが、職員はPPEを着用して陽性者や濃厚接触者の対応を行った後、そのPPEを着用したままグリーンゾーンである場所へ移動し、グリーンゾーンで脱衣し、再利用のためまとめて保管するなど、ゾーニングが不十分な状態になっていた	 <p>汚染されたPPEで移動することにより、汚染されたゾーンが広まり、また、グリーンゾーンの範囲が狭まることで職員の負担増につながっている！<u>PPEは使い捨てにし、レッドゾーンでの作業をレッドゾーン内で完了できるようにゾーニングの仕方を助言。ゾーニングの改変によって必要となる物品の数を整理。不足した場合の支援について助言</u></p>
陽性者のみ使い捨て食器で対応しており、濃厚接触者は通常の食器を利用していた	 <p>食器の洗浄などの業務を軽減するため、全ての入所者に対して、当面の間使い捨ての食器の活用を助言。</p>

3

OCRT訪問時の助言

施設での対応	OCRTからの助言
<p>職員は陽性者が出たことで漠然とした不安を感じており、また、職員でも陽性者が出たために人員が不足し、心身ともに余裕がないとのこと。</p>	<p>PPEの正しい着脱、手洗い、消毒など<u>感染対策を適切にすれば不必要に怖がることはないこと</u>、<u>帰れない職員に空室を提供するなどが職員のケアにつながることを助言</u>。<u>職員の負担の少ないゾーニングを助言するとともに</u>、職員不足には<u>法人内で応援体制が必要であることも伝える</u>。</p>
<p>人手不足により施設内での検体採取が遅れており、必要な検査が終わっていなかった。</p>	<p>早期に入所者全員のスクリーニング検査を行って、陰性・陽性を確認することで、同じ無症状者でも今後発症する可能性があるかなど区別して管理することができ、職員の負担軽減につながることを助言（OCRT職員（医師）が施設管理者の指示のもと一部手伝う。）</p>
<p>施設内療養を行っている入所者に対してのコロナ治療については、まだ予定されていなかった。</p>	<p><u>速やかに協力医療機関への相談すること</u>、協力医療機関で対応困難な場合は<u>保健所へ相談するよう助言</u>。</p>

4

訪問後の施設の状況

～ 施設状況のまとめ ～

- 施設で物品を購入し、また、不足分を行政に支援してもらうことで物品が充足し、レッドゾーンでの作業はレッドゾーンで完結させ、**グリーンゾーンに汚染された物品等を持ちだすことはなくなっていた。**
- 使いまわしていた物品を使い捨てにし、またスクリーニング検査の結果をもって、**施設内でメリハリをつけて入所者の対応を行うことで、職員の作業量が減り負担軽減**になっていた。
- 施設内療養者については、協力医療機関での治療が困難であったため、**保健所に相談し往診支援**を受けていた。訪問当初に聞きとった入院者以降、入院者は出なかった。

★ 施設情報 ★

定員60名程度の高齢者入所施設

● 陽性者の発生

→ 初発患者の濃厚接触者以外からも発生が続いたが、初発患者発生から1週間以内で新規陽性者の発生が止まった。

● 収束までの期間

→ 約3週間

● 死亡者なし